

家庭学習のすすめ

学び・生活のきほん

八栄小 iPad 使用の流れ



八栄小学校

(おうちの^{ひと}人と^よいっしょに読みましょう。)

1 「家庭学習のすすめ」についての考え方

小学校の学習は、将来お子さんが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと考えます。そこで「家庭学習のすすめ」を作成することとしました。

保護者の皆様には、お子さんと一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

2 基礎的・基本的な学習内容について

主として学校で学習する内容（教科書に記載されている内容）です。

特に、次のような学習内容は学年間でつながりをもっていますから、それぞれの学年で確実に身につけておくことが望ましいです。

- 教科書に出ている文章をすらすら読むこと
- 教科書に出ている漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出ているような算数の問題を解くこと

3 家庭学習の方法について

(1) 家庭学習のポイント

- | | | |
|---------------------------|---|--------|
| ①学習を始める時間を決めて、毎日必ず学習する。 | → | 学習の習慣化 |
| ②テレビ・音楽を消して、途中で遊ばないで学習する。 | → | 集中力の向上 |
| ③学習場所を整理整頓して、姿勢よく学習する。 | → | 効率化の向上 |
| ④学習が終わったら、次の日の準備をする。 | → | 忘れ物の防止 |

(2) 家庭学習のステップアップ

ステップ1 ★学校の宿題ができる。

★家庭でも学習しようという気持ちになる。

ステップ2 ★学校の宿題を確実にできる。

★宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。（予習も）

ステップ3 ★宿題が出なくても基本の学習ができる。

★必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

1, 2年生 20~30分
3, 4年生 30~45分
5, 6年生 45~60分

個人差がありますので、あくまでもめやすとして、捉えていただければと思います。

(4) 家庭学習の内容（このような学習もあります）

国語の内容	算数の内容	その他の内容
○漢字練習 ○音読 ○漢字ドリル ○日記 ○意味調べ ○視写 ○詩や俳句の暗唱 ○テストやプリントの問題をもう一度解く ○国語辞典・漢字辞典を身近に置いて調べる。 など	○計算練習 ○計算ドリル ○教科書の問題 ○百マス計算 ○テストやプリントの問題をもう一度解く。 など	○勉強したことに関係のあることを資料集などで調べる。 ○日本地図・世界地図・地球儀を身近に置いて調べる。 ○自然や生き物とふれあい観察する。 ○授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。 ○新聞の記事などに目を通す。 ○進んでお手伝いをする。 など

4 おうちの方へのお願いについて

★家での声かけを大切にしてほしいです！

- ・お子さんが学習していることを、はげましてあげてください。
- ・お子さんがたずねてきたら、できる範囲で答えてあげてください。
- ・お子さんが頑張った成果に目を通して、努力を認めてあげてください。

学習習慣の定着の第一歩は
基本的な生活習慣を身につけることです

早ね・早おき・朝ごはん

かていがくしゅうのすすめ（低学年）

まいにち、がんばろう！
しゅくだい+じしゅがくしゅう

めやす
20～30分

はじめるまえに・・・

- ☆ れんらくちょうをみせ、がっこうからのおてがみを おうちのひとにわたしましょう。
- ☆ つくえのうえや まわりを せいとん しましょう。
- ☆ テレビや おんがくは けしましょう。

はじめに、しゅくだいをしましょう。

しゅくだいがおわったら、こんなことをしてみましょう。

- ☆ すらすらよみましょう。
 - ・こえにだして、きょうかしょを すらすら よめるようにしましょう。
 - ・「」やてん（、）まる（。）に きをつけて よみましょう。
- ☆ ていねいにかきましょう。
 - ・ひらがな、カタカナ、かんじを ただしくかけるように、ノートにれんしゅう しましょう。
 - ・きょうかしょのぶんを、ただしくうつしましょう。
 - ・「～は」「～を」「～へ」をただしくつかって、さくぶんや につきを かきましょう。
- ☆ けいさんのれんしゅうをしましょう。
 - ・けいさんドリルや きょうかしょのもんだいを、ただしくできるように くりかえし れんしゅう しましょう。
- ☆ じょうぎを じょうずに つかえるようにしましょう。

おわったら・・・

- ☆ ふでばこの えんぴつを けずりましょう。
- ☆ あしたのよういを しましょう。
- ☆ つくえのうえや まわり、ランドセルをかたづけましょう。

家庭学習のすすめ（中学年）

毎日、がんばろう！
宿題 + 自主学习

めやす
30～45分

始める前に・・・

- ☆ 学校からのお手紙をお家の人にわたし、ランドセルの中を整理しましょう。
- ☆ つくえの上やまわりを整頓しましょう。
- ☆ テレビや音楽は消しましょう。

始めに、宿題をしましょう。

宿題が終わったら、こんなことをしてみましょう。

- ☆ はっきり、すらすら読みましょう。
 - ・声に出して、教科書をすらすら読めるようにしましょう。
 - ・「」やてん（、）まる（。）に気をつけて、気持ちをこめて読みましょう。
 - ・詩やことわざを暗しょうしてみましょう。
- ☆ 書きの練習をしましょう。
 - ・漢字の読み書きができるように、ノートに練習しましょう。
 - ・字の形、書きじゅん、送りがなに気をつけて、ていねいに書くようにしましょう。
 - ・会話文を使って、作文や日記を書きましょう。
 - ・わからない言葉を、国語じてんなどで調べましょう。
- ☆ 計算の練習をしましょう。
 - ・計算ドリルや教科書の問題を、正しくできるように練習しましょう。
- ☆ 三角定ぎや分度き、コンパスを正しく使えるようにしましょう。
- ☆ 理科や社会の学習で、きょう味をもったことを調べましょう。
- ☆ 勉強したことにかん係することを、事てんや図かんで調べましょう。
- ☆ 自分がきょう味をもったことを、図かんや本で調べてまとめましょう。

おわったら・・・

- ☆ 筆箱のえん筆をけずり、明日の用意をしましょう。
- ☆ つくえの上やまわり、ランドセルをかたづけましょう。

家庭学習のすすめ（高学年）

毎日、がんばろう！
宿題 + 自主学習

めやす
45～60分

始める前に・・・

- ☆ 学校からのお手紙をお家の人にわたし、ランドセルの中を整理しましょう。
- ☆ つくえの上やまわりを整頓して、テレビや音楽は消しましょう。
- ☆ 復習、できるようになりたいこと、調べてみたいことを決めましょう。

始めに、宿題をしましょう。

宿題が終わったら、こんなことをしてみましょう。

- ☆ はっきり、すらすら読みましょう。
 - ・声に出して、教科書をはっきり、すらすら読めるようにしましょう。
 - ・句読点や会話文に気をつけて、情景や気持ちを考えて読みましょう。
 - ・詩や短文、俳句や短歌を暗唱しましょう。
- ☆ 書きの練習をしましょう。
 - ・漢字の読み書きができるように、ノートに練習しましょう。
 - ・字形、書き順、送りがなに気をつけて、ていねいに書きましょう。
 - ・わからない言葉を、辞書などで調べましょう。
 - ・会話文を使って、作文や日記を書きましょう。
 - ・ローマ字の読み書きになれましょう。
- ☆ 計算の練習をしましょう。
 - ・計算ドリルや教科書の問題を、正しくできるように練習しましょう。
- ☆ 三角定規や分度器、コンパスを正しく使えるようにしましょう。
- ☆ 理科や社会で学習したことについて、さらに調べましょう。
- ☆ 新聞を読んだり、きょう味のあるテーマについてまとめたりしましょう。
- ☆ 自分がきょう味をもったことを、図かんや本で調べまとめましょう。

おわったら・・・

- ☆ 筆箱のえん筆をけずり、明日の用意をしましょう。
- ☆ つくえの上やまわり、ランドセルをかたづけましょう。

学び・生活のきほん

①学習に必要な持ち物

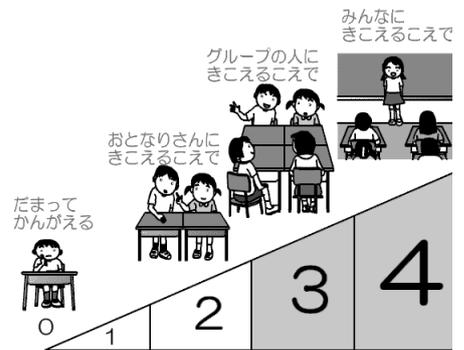
◆毎日の学習に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。

【筆箱に入れるもの】	
○けずった鉛筆5～6本	○定規
○赤青鉛筆1本	○消しゴム（シンプルな物・かおりなし）
	○名前ペン
	○かきかた鉛筆（1～3年）
【道具袋や机の中に入れるもの】	（必要に応じて）
○のり	○コンパス
○色鉛筆	○30cmものさし
○はさみ	○三角定規
○下じき	○分度器
○セロテープ	
○ホチキス（3～6年）	
○クレパス（1～3年）	

※中身が整理整頓しやすい筆箱を使用しましょう。

※ボールペン・マーカーは通常の授業では使用しません。

※学習に必要なものは、持ってきません。



②しっかりと考えを伝える

◆自分の考えをしっかりと伝えることで、自分の理解を確かめます。

- きちんと立って話す。
- みんなの方を向いて話す。
- みんなに聞こえる声の大きさと話す。
- 最後まできちんと話す。

自分の考えをはっきりと話したり、友達の発表を聞いて発表したりするときに役立ちます。
聞く人も、とても聞きやすくなります。

◆身につけさせたい発表の仕方（八栄小ハンドサイン）

<p>【自分の意見を言う時】 「私は〇〇だと思います。そのわけは…」</p> 	<p>【友達の意見に付け足し】 「〇〇さんの意見に付け足しです。…だと思います。」</p> 	<p>【友達に質問するとき】 「〇〇さんに質問します。…」</p> 	<p>【反対の意見を言うとき】 「私は〇〇さんの意見に反対です。私は〇〇だと思います…」</p> 
--	---	--	--

③しっかりと話を聞く

◆人の話をしっかりと聞くことで、自分の理解が深まります。

- 話す人の方を向いて聞く。
- 話の途中で口をはさまず、話を最後まで聞く。
- うなずいたり、メモをとったりしながら聞く。

④学習に向かうために

◆学習の基本として、次のことを守りましょう。

- 挙手するときは、手をしっかりと伸ばす。
- 呼ばれたら、必ず返事をする。返事は、大きな声ではっきりとする。
- 席を離れるときは、いすを入れる。
- 次の時間の教科書やノートを準備してから休む。

⑤ノートについて

◆次の点を基本とし、学年に応じた方法でノートを使いましょう。

- ノートのサイズ、マス目の大きさ、罫線の広さは、学年にあったものを使用します。
- 下敷きを使用します。
- 1マスに1字ずつ、そろった文字を書きます。
- 線は定規を使って引きます。
- 授業の学習問題は「青」、まとめは「赤」で囲みます。
- 学習をふり返ったときに、わかりやすい・見やすいノートづくりをしましょう。

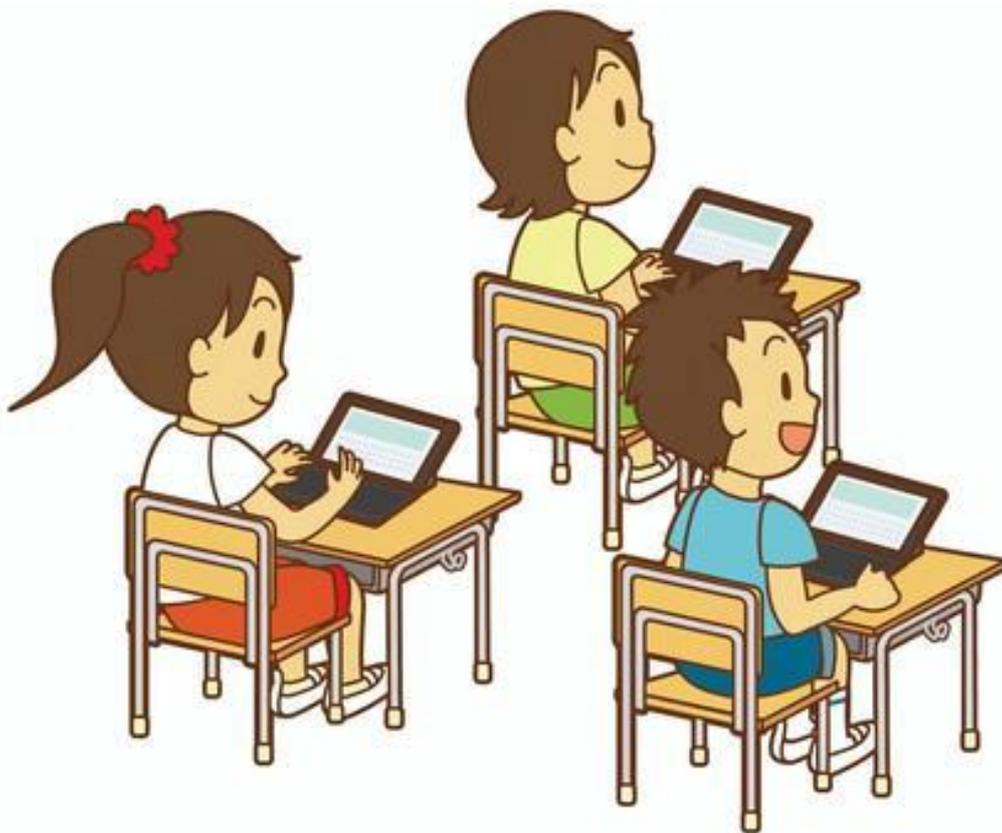
⑥生活について

◆「早ね・早おき・朝ごはん」を心がけましょう。

- すすんであいさつをする。
- 校内では名札をつけ、廊下・階段は右側を静かに歩く。
- 身支度を整え、無駄な話はしないで掃除をする。
- 原則、忘れ物を学校に取りに来ない。
- 自転車等の乗り方に注意し、交通安全に気をつける。
- 夕方の市のアナウンスを聞いたら家へ帰る。夕方の市のチャイムは家で聞く。

八栄小学校

1人1台端末活用のルール



ひとり いちだいたんまつ も かえ かつ

1人1台端末の持ち帰り方



持ち帰り PC

教科書・ノート

ひとり いちだいたんまつ きょうかしょ の ー と めいた そと ちから
1人1台端末は、教科書・ノートなどの間にはさみ、外からの力に
よってこわれないようにしましょう。すいとう みず ちゅうい
水筒などの水もれに注意しましょ
う。

て ばっく い そと ちから う らんどせる
◎手さげバッグに入れると、外からの力を受けやすいので、ランドセル
に入れて持ち帰りましょう。

らんどせる し
◎ランドセルはきちんと閉めましょう。

とうげこうちゅう らんどせる
◎登下校中は、ランドセルから出さないようにしましょう。

いえ じゅうでん ひつよう とき せんせい じゅうでんき か
◎家で充電が必要な時は、先生が充電器を貸します。

基本的な約束



ひとりいちだいたんまつ がくしゅう ふなばししきょういくいいんかい
 1人1台端末は、みなさんの学習のために、船橋市教育委員会が
 かだ るーる まも たいせつ つか
 貸し出すものです。ルールを守って大切に使うてください。

1 ていねい つか 丁寧に使しましょう。

- (1) つか ていねい あつか な お
 (1) 使うときは、丁寧に扱います。(投げたり、落としたり、ぶつけたりしません)
- (2) て つか
 (2) きれいな手で使います。
- (3) た もの の もの つか
 (3) 食べ物や飲み物のないところで使います。
- (4) すく つか
 (4) ほこりの少ないところで使います。
- (5) ひよりいちだいたんまつ そうさ ある はし
 (5) 1人1台端末を操作しながら、歩いたり走ったりしません。
- (6) うえ もの お ふ じめん お
 (6) 上に物を置いたり、踏んだり、地面に置いたりしません。
- (7) みすけ つか すいとう ちゃ
 (7) そばに水気の少ないところで使しましょう。(水筒のお茶などにもちゅうい
 注意する)
- (8) すとーぶ ちか にっこう した あつ ところ お しっけ
 (8) ストープの近くや日光の下などの熱い所には、置きません。湿気
 おお ところ つか
 の多い所では、使いません。
- (9) じしゃく ひよりいちだいたんまつ ちょうし わる ちか
 (9) 磁石は、1人1台端末の調子が悪くなるので、近づけないように
 気を付けます。

ひとりいちだいたんまつ せいみつきかい よこ ぬ お
 1人1台端末は精密機械です。「汚さない」「濡らさない」「落とさない」
 あつ ところ じしゃく ちか お いしき こわ たいせつ あつか
 「熱い所や磁石の近くに置かない」を意識して壊さないように大切に扱
 いましょう。

2 ルールを守って使いましょう。

- (1) 家に持って帰る時や、学校に持ってくる時は、カバンの中に入れます。
- (2) 1人1台端末を持ったまま、遊びません。
- (3) 画面は、ペンで押したり、つめでこすったりしません。
- (4) 1人1台端末のシールを勝手に剥がしません。また、他のシールを貼ったり、落書きをしたりしません。
- (5) 1人1台端末を絶対に家の人以外に使わせたり貸したりしません。
- (6) 1人1台端末の設定は、勝手に変えません。(変えると、使えなくなる場合があります)
- (7) 作ったデータやインターネットから取り込んだデータ(写真や動画)は、授業や学習に関係するものだけ、保存します。
- (8) 家での保管は、家の人が目が届くところ(決められた場所)に置きます。



がっこう いえ つか る - る まも ひとり いちだいたんまつ
学校や家などで、使うときのルールを守れないと、1人1台端末を
つか る - る まも ただ つか
使うことができなくなります。ルールを守って、正しく使いましょう。

3 健康けんこうに気きをつけましょう。

- (1) 1人1台ひとり いちだいたんまつ端末つかを使うときは、正しいただ姿勢しせいで、画面がめんから顔かおを
30センチメートル c m くらいはなします。
- (2) 30分ぶんに一度いちどは目めを休やすませます。(遠とおくの景けしき色みを見るなど)
- (3) 使う時間つかは家じかんの人いえとよく話ひとし合あって決きめます。
長時間ちょうじかん使つかったり、夜遅よるおそくまで使つかったりしません。
- (4) 寝ねる1時間じかん前まえは、使つかいません。

ひとり いちだいたんまつ ちょうじかんつか つづ ちゅうい けんこう
1人1台端末を長時間使い続けることのないように注意し、健康のため、
ただ しせい てきせつ じかん てきど きゅうけい いしき ひとりいち
「正しい姿勢」「適切な時間」「適度に休憩」を意識して、1人1
だいたんまつ つか
台端末を使いましょう。

4 安全あんぜんに使つかいましょう。

- (1) カメラかめらを使つかって、相手あいての許きよ可かなく、人ひとや人ひとの家いえ・持もち物ものなどの写しゃ真しん
や動どう画がを撮とりません。
- (2) 個人情こじんじょうほう報なまえ (名な前まえや住じゅう所しょ、電でん話わ番ばん号ごう) や、他ほかの人ひとを傷きずつけたり嫌いや
な思おもいをさせたりすることを、書かき込こみません。
- (3) あやしいサさいイトとに入はいってしまったら、すぐがめんに画と面とを閉いじ、家いえの人ひと
や学がっこう校せんせいの先れんらく生らに連れんらく絡くします。
- (4) アカウあかうんントとやパぱスすワわードーどは、他ほかの人ひとに教おしえません。



つか かた まちが じぶん まわ ひと きけん とらぶる
使つかい方かたを間まちが違ちがえると、自じ分ぶんや周まわりの人ひとが、危きけん険けんなことやトとらブぶルに
ま こ
巻まき込こまれることがああります。「安あん心しん・安あん全ぜん」な生せい活かつを送おくるためために、
いんたーねっと つか るーる まな まも てきせつ つか
イいんタたーネねッとを使つかうときときのルるーるルまナなーまをも守まもり、適てき切せつに使つかいましょう。